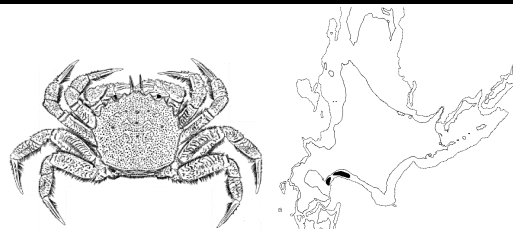


# 34.ケガニ

主な漁業と漁期  
けがにかご：7月中旬～8月下旬



## 胆振太平洋海域

### 生態

#### ◆分布・回遊

オスの高密度域は白老～苫小牧沖に形成されることが多くなっています。雌雄ともに季節的な深淺移動を行い、1～5月は水深20～60m、9～10月は水深90～110mが主分布域となります。漁獲対象サイズのオスは長期的に西へ移動する傾向があり、噴火湾海域へ移動する個体もいます。

#### ◆産卵期・産卵場

- ◎産卵期：7～8月と11～翌4月の2群があると考えられ、幼生ふ化期は1年以上経過した3～4月です。
- ◎産卵場：不明ですが、抱卵個体は噴火湾奥部に多く分布します。
- ◎産卵生態：交尾・産卵は、メスの脱皮に合わせて2～3年ごとに行われます。交尾から産卵までは半年以上を要し、メスは産卵後、受精卵を自分の腹肢に付着させ、幼生がふ化するまで保護します。

#### ◆成長・成熟

	甲長(mm)		体重(g)	
	オス	メス	オス	メス
2歳	49	42	62	39
3歳	61		124	
4歳	74		221	
5歳	87		365	
6歳	87		374	
7歳	101		570	
8歳	101		595	

\*) 2001～2013年の測定データ、三原ら(2016)、Abe(1992)より  
\*) 加齢の基準日：4月1日

#### ◎成熟年齢・甲長

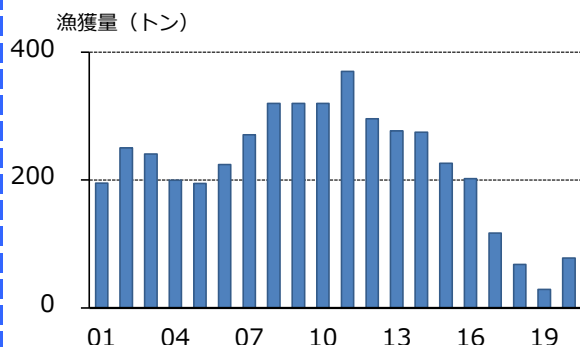
- ・オス：甲長49mm、2歳から成熟する個体が見られます。
- ・メス：甲長42mm、2歳から成熟する個体が見られます。

### 資源評価

[評価年] 4月～翌3月

[資源水準の指標] 資源調査による資源量指数

2020年度の漁獲量は約78トンで、前年より増加しました。2020年度の資源水準は、4年連続で低水準で、翌年にかけての資源動向は増加と判断されました。本資源の漁獲は知事許可のけがにかご漁業に限定されており、漁獲量、漁期等が厳格に制限されていますが、資源量や加入量の急激な減少に対応して、より適正な資源利用を図っていく必要があります。



2020年度  
の水準



低水準

2021年度  
の動向

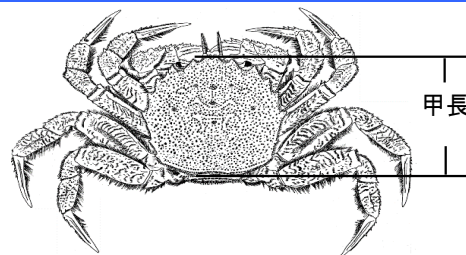


増加

### 資源の維持・増大のために！

#### 資源管理の現状(主なもの)

- 北海道漁業調整規則  
メスおよび甲長8cm未満のオスの採捕が禁止されています。
- 許可の制限条件等  
許可隻数、漁期、かご数・目合の制限をしています。また、毎年資源評価に基づき、許容漁獲量を定めています。



☆密漁対策を継続していく必要があります。また、現状の措置を遵守すると同時に、急激な資源の減少に対し、より適正な資源利用を図っていく必要があります。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係  
北海道立総合研究機構 栽培水産試験場調査研究部

電話 011-204-5477  
電話 0143-22-2327